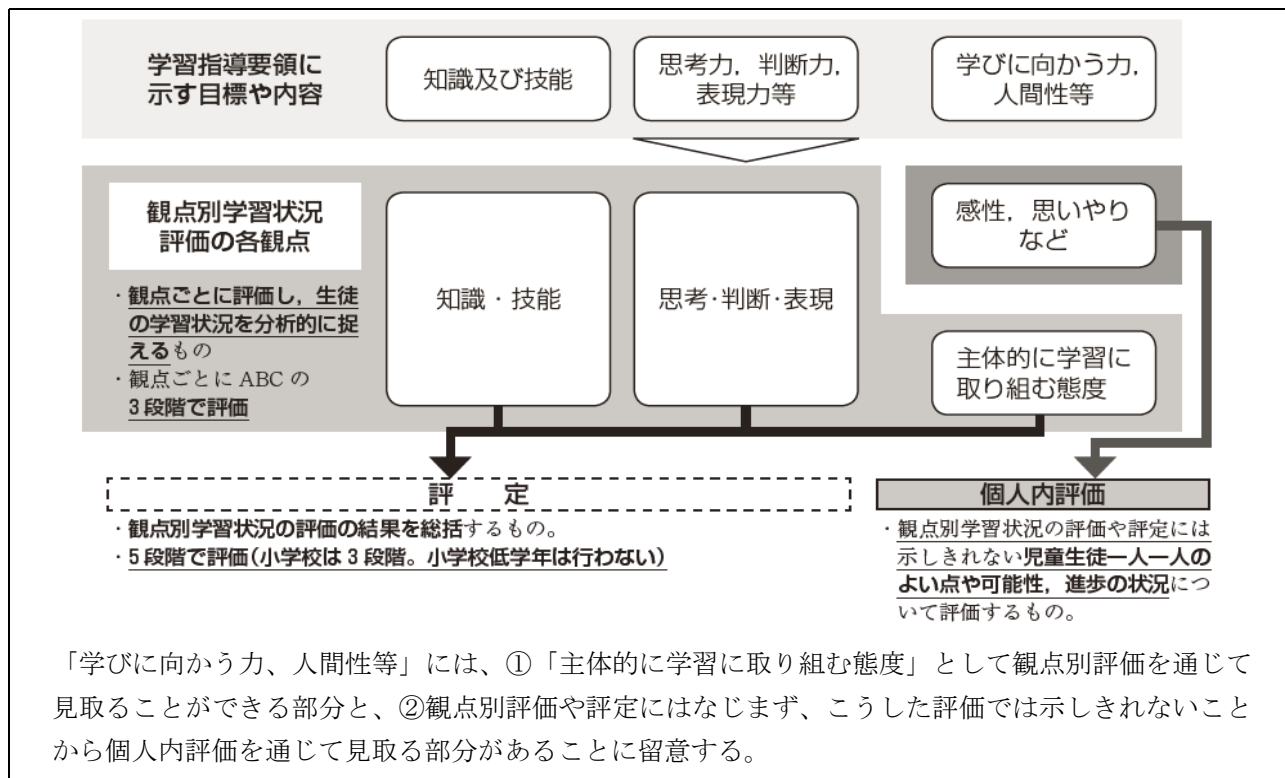


評価の具体例作成にあたって

① はじめに

「児童生徒の学習評価の在り方について」（平成 31 年 1 月、中教審報告）や、「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録等の改善等について」（平成 31 年 3 月、文部科学省通知）において、評価について、次のように示されました。

【各教科における評価の基本構造】（報告 p. 6、9 より抜粋）



【各観点の評価について】（報告 p. 7～11 より抜粋）

<知識・技能>

- 個別の知識及び技能の習得状況について評価する。
- それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。

<思考・判断・表現>

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。

<主体的に学習に取り組む態度>

- ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、②自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

【評価の場面について】（通知 4. (2) より、下線は本稿にて付加）

学習評価については、日々の授業の中で児童生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすことに重点を置くことが重要であること。観点別学習状況の評価の記録に用いる評価については、毎回の授業ではなく原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、その場면을精選することが重要であること。

また、「各学校において学習評価を行う際の評価規準は、「内容のまとめりごとの評価規準」を基に、学習指導要領解説等を踏まえて作成する」こととされ、その補足資料として、「内容のまとめりごとのより具体的な評価規準（例）」を作成する手順も示されました。

【理科第5学年の「内容のまとめりごとのより具体的な評価規準（例）」の概要】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・(ア)を理解している。 ・(イ)を理解している。 ・(A)について、<u>観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・(A)について、<u>予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</u> ・(A)について、観察、実験などを行い、<u>得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・(A)についての物事・現象に<u>進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</u> ・(A)について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

※ (ア)、(イ)は、知識に関する内容。(A)は、内容のまとめりにおける学習の対象。下線部は、学年によって表現が異なる場合がある部分。

※ 第5学年の「内容のまとめりごとのより具体的な評価規準（例）」全体は、後掲資料をご参照ください。

②「わくわく理科」における評価規準について

令和6年度以降用「わくわく理科」各単元における評価規準の具体例は、上記の観点や趣旨に従うとともに、実際の学習活動に即して授業場面内で見取ることができるように、各単元の指導計画に沿った形で作成しましたので、指導の実際に応じて、適宜修正してご利用いただければと存じます。

「評価規準」の具体例設定にあたって

- 「内容のまとめりごとのより具体的な評価規準」（単元の評価規準）の各項目を、それぞれの実現状況が把握しやすい場面に割り振って、その場面に即した形で作成しています。
 - ※「思考・判断・表現」については、その場面で主に育てたい問題解決の力を取り上げて設定していますが、他の力についても、単元全体を通して見取っていただければと存じます。
 - ※「主体的に学習に取り組む態度」については、例示した場面以外でも、単元全体あるいは複数の単元にわたって、長期的に見取っていただければと存じます。
- 季節に応じた副単元などでは、全ての項目を網羅していない場合もありますが、年間を通して見たときに、漏れがないようにしています。
- 「感性、思いやりなど」にあたる目標（自然を愛する心情など）は、評価規準としては設定していませんが、個人内評価を通じて積極的に見取っていただければと存じます。

⇒「評価基準」について

「評価規準」に達している場合がB評価、達していない場合がC評価となりますので、評価規準をB基準としています。十分満足できると見取る（A評価）児童の状況の例や、B基準に達していない場合の手立ての例も掲載していますので、ご参考になりましたら幸いです。

⇒「本時の目標」との対応

それぞれの『時』の「本時の目標」は、指導書の「指導案（研究編）」「朱註のページ（朱註編）」に掲載しますが、その内容は、「評価規準」と共通としました。

（「指導と評価の一体化」に鑑みて、それぞれの『時』に割り振った「評価規準」の内容を、その『時』の「本時の目標」として設定しています。なお、文末表現は、「評価規準」においては「～している」など、「本時の目標」においては「～できる」「～する」などで統一しています。）

（評価について、詳しくは指導書「総説」にも掲載しています。）

資料：第5学年の「内容のまとめりごとのより具体的な評価規準（例）」について

【第5学年の「内容のまとめりごとのより具体的な評価規準（例）」の概要】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・(ア)を理解している。 ・(イ)を理解している。 ・(A)について、<u>観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・(A)について、<u>予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</u> ・(A)について、観察、実験などを行い、<u>得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・(A)についての<u>事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</u> ・(A)について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

※(ア)、(イ)は、知識に関する内容。(A)は、内容のまとめりにおける学習の対象。下線部は、学年によって表現が異なる場合がある部分。

【第5学年の「内容のまとめりごとのより具体的な評価規準（例）」】

→青文字は、教科書「**わくわく理科**」におけるおもな該当単元名

A(1)「物の溶け方」の「より具体的な評価規準（例）」

→教科書単元名：「**8. もののとけ方**」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・物が水に溶けても、水と物を合わせた重さは変わらないことを理解している。 ・物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。 ・物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解している。 ・物の溶け方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の溶け方について見いだした問題について、<u>予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</u> ・物の溶け方について、観察、実験などを行い、<u>得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の溶け方についての<u>事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</u> ・物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A(2)「振り子の運動」の「より具体的な評価規準（例）」

→教科書単元名：「**7. ふりこのきまり**」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わること理解している。 ・振り子の運動の規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り子の運動の規則性について見いだした問題について、<u>予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</u> ・振り子の運動の規則性について、観察、実験などを行い、<u>得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り子の運動の規則性についての<u>事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</u> ・振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A (3) 「電流がつくる磁力」の「より具体的な評価規準 (例)」

→教科書単元名：「9. 電流と電磁石」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。 電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解している。 電流がつくる磁力について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> 電流がつくる磁力について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 電流がつくる磁力について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 	<ul style="list-style-type: none"> 電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 電流がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B (1) 「植物の発芽、成長、結実」の「より具体的な評価規準 (例)」

→教科書単元名：「花のつくり」「2. 植物の発芽と成長」「4. 花から実へ」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。 植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 植物の育ち方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物の育ち方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 植物の育ち方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物の育ち方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 植物の育ち方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B (2) 「動物の誕生」の「より具体的な評価規準 (例)」

→教科書単元名：「3. メダカのたんじょう」「5. ヒトのたんじょう」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえることを理解している。 人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 動物の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> 動物の発生や成長について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 動物の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 	<ul style="list-style-type: none"> 動物の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 動物の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B（3）「流れる水の働きと土地の変化」の「より具体的な評価規準（例）」

→教科書単元名：「6. 流れる水のはたらき」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。 ・雨の降り方によって、流れる水の量や速さは変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場面があることを理解している。 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流れる水の働きと土地の変化について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B（4）「天気の変化」の「より具体的な評価規準（例）」

→教科書単元名：「1. 雲と天気の変化」「台風と気象情報」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 ・天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 ・天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。